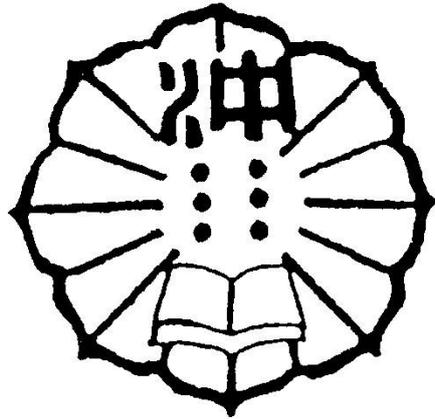


令和7年度

学校評価

校訓 「清く明るく よく学び 光り輝く」



]

沖縄県立沖縄盲学校

目 次

自己評価（教職員アンケート）の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	1
学校関係者評価（学校評議員）による評価の結果・・・・・・・・	5
外部アンケート（保護者・生徒）の結果・・・・・・・・・・・・	6
自由記述欄への回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10

令和7年度 沖縄県立沖縄盲学校 自己評価（教職員評価）

R6回答率： 67/ 70名 ≒96%

R7回答率： 63/ 71名 ≒88%

4段階評価(A:達成できた、B:ほぼ達成でき、C:やや達成できなかった、D:達成できなかった)

No	評価項目	今年度	評価結果の比率				未回答
		去年度	A	B	C	D	
1	校長の学校経営方針, 年度の重点目標を明示し, 全教職員に周知を図っている。	R6	32	33	1	0	1
		R7	28	34	1	0	0
2	保護者や地域との連携, ホームページ等を活用した情報発信や交流, 施設開放等を通して「開かれた学校づくり」に取り組んでいる。	R6	30	34	1	0	2
		R7	24	37	2	0	0
3	ICT機器の活用や課外活動, 読書推進, 学舎連携等を通して「魅力(特色)ある学校づくり」に取り組んでいる。	R6	23	43	0	0	1
		R7	20	40	3	0	0
4	情操教育(美術・音楽・読書)や道徳教育, 自立活動, キャリア教育等の充実により「豊かな感性と自立を育む学校づくり」に取り組んでいる。	R6	31	33	1	0	2
		R7	21	40	2	0	0
5	各種点検や防災・防犯対策, 各種の対応マニュアルの活用, 健康・安全に関する教育や環境整備により「安心・安全な学校づくり」に取り組んでいる。	R6	33	29	4	0	1
		R7	33	29	1	0	0
6	教職員研修の充実による専門性の向上, 私費会計の適切な管理, 服務規律及び法令遵守の徹底等により「信頼される学校づくり」に取り組んでいる。	R6	36	30	1	0	0
		R7	31	30	2	0	0
7	校務の推進にあたっては, 学部主事・分掌主任を含む組織の機能を発揮し, 学部間・分掌間の連携を図り, 円滑な運営に努めている。	R6	29	36	1	0	1
		R7	27	34	1	1	0
8	職員会議, 各分掌活動の資料・記録を適切にまとめ, 保存するよう努めている。	R6	32	34	1	0	0
		R7	28	34	1	0	0
9	周知を要する文書・報告, 研修会等の有益な情報は, 職員に速やかに伝達・理解されるよう努めている。	R6	36	29	2	0	0
		R7	26	37	0	0	0
10	教育目標や重点目標の具現化に向けた研究(研修)主題を設定し, 適切な研究(研修)計画と実践がなされている。	R6	23	40	3	0	1
		R7	20	41	2	0	0
11	総合教育センター等各種公的研修会への積極的な参加のもと資質を高めるとともに, 研修成果を教育実践に活かしている。	R6	19	47	1	0	0
		R7	20	40	3	0	0

No	評価項目	今年度	評価結果の比率					
		去年度	A	B	C	D	未回答	
12	教材・教具を有効に活用するとともに、備品台帳の整備を行い、備品の登録、管理及び廃棄等が適切に行われている。	R6	27	36	3	0	1	
		R7	27	32	4	0	0	
13	校舎内外の施設・設備の点検を定期的に行い、適切な安全管理をしている。	R6	33	31	3	0	0	
		R7	39	22	1	1	0	
14	教材費等の学校徴収金の経理は、年間を通じ計画的に進められ、適正に処理されるよう努めている。	R6	33	33	0	0	1	
		R7	34	27	2	0	0	
15	各 教 科 等 の 指 導	学習指導要領に基づき、目標・内容・指導時数等を明確にした年間指導計画を作成している。	R6	26	38	0	1	2
		R7	27	36	0	0	0	
16	幼児児童生徒の実態等を十分に把握し、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・活用と個に応じた指導と評価を行い、課題を改善に活かしている。	R6	25	39	1	0	2	
		R7	20	41	2	0	0	
17	適切な授業時数確保のもとに、創意工夫を活かした特色ある教育活動が展開されている。	R6	30	32	3	0	2	
		R7	24	38	1	0	0	
18	幼児児童生徒個々の視覚の状況に応じた教材・資料の提供やICT機器の活用等により、指導の充実を図っている。	R6	32	32	2	0	1	
		R7	21	41	1	0	0	
19	幼児児童生徒の言語環境を整え、言語活動が、適正に行われるよう、学校生活全体をとおして推進している。	R6	29	36	1	0	1	
		R7	15	46	2	0	0	
20	自立活動は、視覚障害教育の専門性を活かしつつ、学年、学部間の連携を図り、幼児児童生徒の発達段階に応じた指導がなされている。	R6	24	40	2	0	1	
		R7	18	41	4	0	0	
21	全教職員の共通理解と協力のもと、視覚障害教育のセンター校としての取り組みの充実が図られている。	R6	37	28	1	0	1	
		R7	23	38	2	0	0	
22	図書室は、幼児児童生徒、職員が利用しやすいよう、本の紹介や書架の整理等の工夫がされ、図書の購入が計画的に進められている。	R6	38	27	2	0	0	
		R7	34	27	2	0	0	
23	幼児児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る道徳教育を、学校教育全体を通じて指導している。	R6	22	40	3	0	2	
		R7	16	46	1	0	0	

No	評価項目	今年度	評価結果の比率							
		去年度	A	B	C	D	未回答			
24	教育活動全般	信頼関係や好ましい人間関係に根ざした学級経営の充実を図り、いじめ不登校等への対応を含めた適切な生徒指導の充実を図っている。	R6	28	32	5	0	2		
		R7	24	34	5	0	0			
幼児児童生徒の発達段階に合わせて、現在および将来の生き方を考えることができるよう工夫したキャリア教育の充実が図られている。		R6	22	37	6	0	2			
R7		16	45	2	0	0				
進路指導の全体計画を作成し、学年、発達段階に応じて、計画的、系統的に教育活動全体を通して指導している。		R6	23	41	1	0	2			
R7		18	44	1	0	0				
総合的な学習の時間のねらいをふまえ、児童生徒の実態等に応じた、目標・学習課題を設定し、活動の充実が図られている。		R6	23	39	3	0	2			
R7		16	46	0	1	0				
居住地校交流、学校間交流等を計画的に実施し、交流及び共同学習の充実が図られている。		R6	33	29	3	0	2			
R7		33	29	1	0	0				
人権教育について「いじめ防止」等で実態に応じた適切な指導を行っている。	R6	35	28	2	0	2				
R7	28	34	1	0	0					
人権教育について「人権を考える日」等で実態に応じた適切な指導を行っている。	R6	30	32	3	0	2				
R7	20	42	1	0	0					
31	健康	学校保健計画を作成し、年間を通して幼児児童生徒の実態に即した指導の充実が図られている。	R6	35	30	2	0	0		
		R7	26	37	0	0	0			
学校は、感染症対策に努めながら、特色ある教育活動(学校行事・学部行事等)を行っている。		R6	40	25	0	0	2			
R7		32	30	1	0	0				
身体計測や各種検査等が計画的に行われるとともに、保健室の利用がしやすいよう、工夫されている。		R6	42	23	0	0	2			
R7		39	24	0	0	0				
34		安全	緊急時マニュアル等が整備され、管理者、養護教諭、学級担任、保護者、主治医、校医等の関係者の連携が図られている。	R6	36	28	2	0	1	
			R7	28	34	0	1	0		
35			指導	生命の尊重や人権尊重を基盤に、エイズを含む性教育を計画的に進めている。	R6	23	39	3	0	2
				R7	20	39	4	0	0	

No	評価項目	今年度	評価結果の比率				
		去年度	A	B	C	D	未回答
36	学校給食計画を作成し、個に応じた望ましい食習慣の形成や、好ましい人間関係を育てる給食指導の充実が図られている。	R6	28	36	0	0	3
		R7	25	37	1	0	0
37	学校安全計画に基づき、防災訓練等を計画的に実施するとともに、「危機管理マニュアル」等を活用し、学校全体の危機管理能力の向上に努めている。	R6	35	30	1	0	1
		R7	34	28	1	0	0
38	寄宿舎では、舎生の実態や生活課題を的確に把握し、個別の生活指導計画に基づく個に応じた生活指導、余暇活動の充実が図られている。	R6	29	36	1	0	1
		R7	32	31	0	0	0
39	寄宿舎指導員と学級担任、保護者との連携が図られ、舎生による主体的な活動が促されるよう努めている。	R6	32	33	1	0	1
		R7	32	31	0	0	0
40	寄宿舎の施設・設備の充実に努め、生活・学習環境の充実が図られている。	R6	31	35	0	0	1
		R7	34	29	0	0	0
41	自身の職務にやりがいを感じている	R6	今年度新設項目				
		R7	15	40	6	2	0
42	同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。	R6	30	34	3	0	0
		R7	24	33	4	2	0
43	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	R6	19	36	11	1	0
		R7	15	32	15	0	0
44	一人一人の幼児児童生徒との信頼関係を深めることができています。	R6	27	36	3	0	1
		R7	15	42	5	1	0
45	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	R6	25	37	3	1	1
		R7	16	43	4	0	0
46	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	R6	19	42	4	1	1
		R7	11	44	5	3	0
47	PTA活動の充実を目指して、会員相互の協力体制づくりに努め、計画的に実施している。	R6	24	41	2	0	0
		R7	16	45	2	0	0
48	スクールバスの安全運行に努め、運転業務の委託業者、介助員、学級担任、保護者の連携が十分に図られている。	R6	39	27	0	0	1
		R7	31	32	0	0	0

令和7年度 沖縄盲学校 外部評価(学校評議員)

1～6の各項目について、「A: 十分、B: やや十分、C: やや不十分、D: 不十分」のいずれにか○印を記入し、評価して下さい。

NO	評価領域	評価				感想・意見等
		A 十分	B やや十分	C やや不十分	D 不十分	
1	本校の教育目標 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	4				<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の評価の比率が大きく十分なされていると感じる ・理解しやすく、素晴らしいと思います ・児童生徒保護者の評価から概ね良好と捉えることができる
2	本校の教育実践 学校は教育課題について適切に取り組んでいる。	4				<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの個性を活かし実践している様子が伺える ・さまざまな外部との繋がりが、良い結果を生み出していると感じました ・1, 2学期の各学部・舎の取り組み状況報告から幼児児童生徒の頑張りが先生方の献身的な取り組みの様子が伝わってきました。 ・運動会や修学旅行など実施していない行事は評価できないのでこの評価ではなく別途でやったらどうでしょうか？
3	本校の健康・安全 学校は健康・安全教育に取り組んでいる。	2	2			<ul style="list-style-type: none"> ・自由記述で専攻科の生徒の声がありましたが、課題を全職員で共有し改善にむけて取り組んでください。心のケアが最も大事だと思います。
4	本校の環境美化 学校は校舎内外の環境美化に取り組んでいる。	4				<ul style="list-style-type: none"> ・運動場整備と働き方改革のために除草剤機材導入など取り入れられており素晴らしいと思います ・いつもきれいです。
5	本校の進路指導 学校は適切な進路指導に取り組んでいる。	2	2			<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べてC、Dが比率が多いのが気になります ・専門性の維持、継承は重要だと感じます。そこが差別化にもつながると思います ・生徒の回答で「先生は進路のことについて情報を提供したりよく話してくれる」で、やや思わない、そう思わないが4名いるのが気になります。小学部の児童への設問の仕方の工夫が必要か？
6	本校のPTAや地域との連携 学校はPTAや地域と連携し、円滑な学校運営に取り組んでいる。	4				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの評価が高く連携が良好と感じる ・地域の方にも開かれた学校になっているのが感じられました。メディアにも頻繁に取材されており周知活動が浸透してきていると感じます ・保護者の評価が高くて良いと思います。

令和7年度 県立沖縄盲学校 学校関係者評価(保護者)

回答者数(R6) 17人 保護者総数 27人 回答率≒63%

回答者数(R7) 20人 保護者総数 29人 回答率≒69%

4段階評価

(A:とてもそう思う、B:ややそう思う、C:ややそう思わない、D:全くそう思わない)

No	評価項目	去年度	評価結果の比率				
		今年度	A	B	C	D	無回答
1	実態等に応じた適切な計画や目標が設定されている。	R6	13	4	0	0	0
		R7	12	8	0	0	0
2	学校の幼児児童生徒への指導に満足している。	R6	15	2	0	0	0
		R7	14	6	0	0	0
3	学校でどのような教育活動が行われているかよく分かる。	R6	8	9	0	0	0
		R7	12	7	1	0	0
4	学習内容や学校での様子等は、連絡帳や学級通信などで知ることができる。	R6	12	5	0	0	0
		R7	16	3	1	0	0
5	喜んで(楽しそうに)学校に行っている。	R6	12	4	0	0	1
		R7	15	4	1	0	0
6	学校行事や学部行事等を楽しみにし、積極的に参加している。	R6	12	4	1	0	0
		R7	14	5	0	1	0
7	通知票は学習内容が適切に評価できるように工夫されている。	R6	12	5	0	0	0
		R7	14	6	0	0	0
8	先生は、幼児児童生徒の能力や努力を正しく理解している。	R6	14	3	0	0	0
		R7	15	5	0	0	0
9	学校は、幼児児童生徒のことに、適切に相談に応じている。	R6	12	5	0	0	0
		R7	17	3	0	0	0
10	幼児児童生徒の心身の健康について、気軽に学校に相談できる。	R6	15	2	0	0	0
		R7	18	2	0	0	0

No	評価項目	去年度	評価結果の比率				
		今年度	A	B	C	D	無回答
11	学校は、幼児児童生徒の進路について、実態に応じた適切な指導を行っている。	R6	13	4	0	0	0
		R7	12	8	0	0	0
12	学校は、保護者が授業参観する機会をよく設けている。	R6	13	3	0	1	0
		R7	16	4	0	0	0
13	学校は、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうように努力している。	R6	13	4	0	0	0
		R7	16	4	0	0	0
14	学校は、感染症対策に努めながら、特色ある教育活動(学校行事・学部行事等)を行っている。	R6	12	5	0	0	0
		R7	14	6	0	0	0
15	学校は、幼児児童生徒の健康増進に配慮した指導を行っている。	R6	13	4	0	0	0
		R7	15	5	0	0	0
16	学校は、幼児児童生徒の安全や事故防止に配慮している。	R6	11	6	0	0	0
		R7	14	6	0	0	0
17	学校は、PTA活動が活発になるように、意欲的に取り組んでいる。	R6	7	10	0	0	0
		R7	12	8	0	0	0
18	学校は、人権を大切にした学校生活などの道徳性を高める教育活動に取り組んでいる。	R6	10	7	0	0	0
		R7	16	4	0	0	0
19	学校は、いじめを許さない学級・学校作りに取り組み、問題が生じたときは適切に関わり、改善に努めている。	R6	11	6	0	0	0
		R7	14	5	1	0	0

令和7年度 県立沖縄盲学校 学校関係者評価(児童生徒)

回答者数(R6)25人 対象児童生徒総数29人 回答率≒86%

回答者数(R7)28人 対象児童生徒総数42人 回答率≒66%

4段階評価(A:そう思う、B:ややそう思う、C:やや思わない、D:そう思わない)

No	評価項目	去年度	評価結果の比率				
		今年度	A	B	C	D	無回答
1	学校へ行くのが楽しい。	R6	14	9	1	1	0
		R7	15	8	3	1	1
2	私の学級は楽しい。	R6	13	11	1	0	0
		R7	17	7	2	1	1
3	文化祭、運動会、宿泊学習、 修学旅行などの学校行事は楽しい。	R6	13	7	3	1	1
		R7	13	3	10	1	1
4	授業ではわかりやすく、ていねいに教えてくれる。	R6	22	3	0	0	0
		R7	17	8	1	0	2
5	先生は、わたしたちの意見をよく聞いてくれる。	R6	19	4	2	0	0
		R7	18	8	0	0	2
6	先生は、よくほめてくれる。評価してくれる。	R6	18	4	3	0	0
		R7	14	9	3	0	2
7	先生に、悩みごとや困ったことなどを相談しやすい。	R6	15	6	2	0	0
		R7	9	11	4	0	4

No	評価項目	去年度	評価結果の比率				
		今年度	A	B	C	D	無回答
8	先生は、進路のことについて情報を提供したりよく話してくれる。	R6	19	5	0	0	1
		R7	11	10	3	1	3
9	校外学習や就業体験などで地域に出て学習する機会がある。	R6	19	6	0	0	0
		R7	19	7	0	0	2
10	学校行事や校内放送など、生徒会活動に参加する機会がある。	R6	15	7	1	2	0
		R7	17	6	2	2	1
11	他の学校や地域の方々と交流する機会がある。	R6	13	7	3	2	0
		R7	15	3	5	4	1
12	地震や火事のと看、どうすればいいか、よく知らされている。	R6	18	6	1	0	0
		R7	14	10	1	1	2
13	先生は、人権について(日頃のことばづかい、いじめの問題)大切にしている。	R6	19	4	1	1	0
		R7	18	7	1	1	1
14	学校は、感染予防に心がけた活動ができていますか。	R6	15	7	1	1	1
		R7	14	10	2	0	2

学校関係者評価（職員）自由記述に対する各部署からの回答

記述内容	回答	回答部署
<p>点字機器「ブレイルメモスマート」が数台、故障箇所があるのですが修理のための予算確保がうまくできません。何かよい対応方法はないでしょうか。備品など新しく購入する際の予算は確保されるのですが、購入後のメンテナンスや修理のための予算も枠があればと思います。</p>	<p>点字機器の修理・メンテナンスにつきましては、学校としても教育活動を支える重要な課題であると認識しております。備品の修理やメンテナンスが必要な場合には、予算要望を行うことが可能です。ただし、要望から予算措置、執行までには一定の期間（おおむね1年）を要するため、計画的な対応が必要となります。今後、修理が想定される機器については、次の点に留意しながら、早めに事務と相談し、予算要望につなげていきたいと考えております。</p> <p>① 要望時期：毎年度5～6月（事務から要望調査の案内あり）</p> <p>② 方 法：修理対応可能な業者から見積を取得し要望</p> <p>③ 修理先の確認：専門的な機器であるため、対応可能業者を事前に確認</p> <p>また、今回ご指摘のように、購入後のメンテナンスや修理に関する継続的な予算確保についても課題として共有し、今後の備品管理の在り方について検討してまいります。</p>	<p>管理者 事務</p>
<p>授業改善に必要な情報として生徒からの授業評価を実施して欲しい。各教員が個別に生徒から聴き取り改善する様になっているが、より客観的に見える化する事で改善の必要性が高まる事、継続的な改善が可能になると考えます。</p>	<p>生徒による授業評価の実施につきましては、授業改善を進める上で有効な手段の一つであると認識しております。ご指摘のとおり、生徒の声を客観的に把握し、授業改善を継続的につなげていく視点は重要であると考えています。一方、本校は少人数学級であり、各クラスの在籍人数が1～2名程度である場合も多く、生徒アンケートを実施した場合、回答者が特定されやすくなります。そのため、生徒が率直に回答しにくい状況が生じ、必ずしも正確な評価につながらない可能性があることが課題として挙げられます。現在は、学校評価において授業に関する項目を含めたアンケートを実施するとともに、定期試験や単元テストなどにより生徒の理解状況を把握し、授業改善の参考としていただいております。今後につきましては、生徒の心理的負担や匿名性の確保に十分配慮しながら、生徒の意見の受け止め方も含め、職員間の対話や協議を通して、それらをどのように授業改善に生かしていくことができるか、引き続き検討してまいります。</p>	<p>管理者</p>

<p>働き方改革について、業務の精選を管理者が先頭に立って積極的に推進してほしい</p>	<p>働き方改革における業務精選につきましては、管理者として重要な課題であると受け止めており、引き続き学校全体で取り組んでいく必要があると考えています。</p> <p>これまで、面談等の実施時期の調整や行事内容の見直しなど、業務の精選を進めてきました。また、清掃業務や事務の軽作業については、県立総合教育センターKSチームの支援やSSSの配置等により、一定の業務軽減を図ってきたところです。</p> <p>一方で、盲学校として専門性を維持するために必要な研修や、盲学校間で連携して実施している行事については、在籍者数が減少している状況においても、削減が難しいものがあることも事実です。</p> <p>今後は、管理者が中心となり、「何を減らせば生徒と向き合う時間や教材研究の時間が確保できるか」という視点に立って、業務内容を整理するとともに、職員との対話や協議を通して、業務精選を進めていきたいと考えています。引き続き、現場の実情を踏まえたご意見をいただきながら、働き方改革の取組を進めてまいります。</p>	<p>管理者</p>
<p>不審者対策として、西門と裏門の開閉の取り決めや正門へ促す看板の設置が必要。</p>	<p>不審者対策につきましては、児童生徒の安全確保の観点から重要な課題であると認識しております。正門への来校を促す看板につきましては、来校者に分かりやすく周知できるよう、設置場所や表記内容を検討しており、今年度中の設置に向けて進めてまいります。また、西門および裏門の開閉の在り方につきましては、学校の実情や動線を踏まえながら、開閉時間や使用方法等のルールを整理し、職員間での共通理解を図っていきたいと考えております。今後も、校内の安全管理体制の見直しを行いながら、不審者対策の充実に努めてまいります。</p>	<p>管理者 事務</p>

<p>裏門近くの果樹の収穫する係りがあるともっと活用できるのではないか</p>	<p>裏門付近の果樹の活用についてのご意見ありがとうございます。各部署で検討した結果、果樹は教育的資源として活用の可能性がある一方で、管理体制や安全面、食に関する制約等を踏まえた慎重な対応が必要であることを確認しました。果樹の収穫や管理については、本来、生徒が自然に触れ、学習活動の中で関わることに意義があるとの意見が多くあり、理科や社会科等の授業、季節の自然観察、実物を用いた触察活動など、各学部・学科の教育活動の中での活用を今後も継続・工夫していきます。一方で、場所的に利用が限定されていることや、給食以外の生ものを扱うことの難しさ、係を設置した場合の管理責任や引き継ぎの課題も指摘されました。そのため、現時点では全校的な「収穫係」の設置は行わず、・果樹が実っている時期の情報共有（放送等による周知）・授業や活動での活用の呼びかけ・管理・活用方法についての意見募集といった形で、無理のない活用を進めていきたいと考えています。今後も、教育的効果と安全・管理体制の両立を図りながら、果樹を含めた校内環境のより良い活用について検討を続けてまいります。</p>	<p>管理者</p>
<p>視覚障害の特性を踏まえた（触れる指導、声のかけかた、音環境の整備など）学習指導の充実のための学部別や教科別の研修や学習会を増やしてほしい</p>	<p>視覚障害の特性を踏まえた学習指導の充実につきましては、本校における研修の重要な柱であると認識しております。専門班研修では、幼・小学部から専攻科、寄宿舎までの枠を越え、全職員が視覚障害教育に関わる研究班に分かれて専門性の向上を図ってきました。その中で「学習指導班」を設け、触れる指導や声のかけ方、教材・環境設定など、実践を通じた研修を行っています。また、毎月第3木曜日に実施している学部研修では、各学部が直面している課題について共通理解を図り、指導の在り方や指導体制について協議を行っています。一方で、ご要望のとおり、学部別・教科別に特化した研修や学習会の充実については、今後の課題であると受け止めています。現在実施しているミニ講座等の取組を生かしながら、自立活動係等との協働も図り、ニーズに応じた研修の在り方について引き続き検討してまいります。</p>	<p>研修部</p>

<p>生徒への支援方法について、共通理解を図るためのケース会議がもっと頻繁に行われた方が良いのではないかと感じた。</p>	<p>生徒への支援方法について共通理解を図ることは、適切な支援を行う上で重要であると認識しております。現在は、各学部の支援部を中心に対応を行い、学部で得られた情報を支援部会で共有するとともに、主事会での報告を通して各学部へ周知を図っているところです。一方で、ご指摘のとおり、ケースによっては全体での協議や共通理解がより必要となる場合もあると考えております。今後は、既存の会議体を生かしながら、全体でのケース会議の在り方や開催のタイミングについても整理し、必要に応じて開催していくことで、支援の充実につなげていきたいと考えています。</p>	<p>支援部</p>
<p>生徒への支援方法について共通理解を図ることは、適切な指導・支援を行う上で重要であると考えています。小学部では、年1回のモニタリングを実施し、児童の様子や授業の状況について学部内で共通理解を図っています。また、日常的に児童の状況や課題について情報共有を行い、必要に応じて部主事を中心にケース会議を行い、学部会等で協議してきました。一方で、ご指摘のとおり、支援の内容や状況によっては、より丁寧な協議や情報共有が必要となる場合もあると受け止めています。今後は、既存の取組を生かしながら、ケース会議の在り方や開催のタイミングについても検討し、共通理解の充実につなげていきたいと考えています。</p>	<p>生徒への支援方法について共通理解を図ることは、適切な指導・支援を行う上で重要であると考えています。小学部では、年1回のモニタリングを実施し、児童の様子や授業の状況について学部内で共通理解を図っています。また、日常的に児童の状況や課題について情報共有を行い、必要に応じて部主事を中心にケース会議を行い、学部会等で協議してきました。一方で、ご指摘のとおり、支援の内容や状況によっては、より丁寧な協議や情報共有が必要となる場合もあると受け止めています。今後は、既存の取組を生かしながら、ケース会議の在り方や開催のタイミングについても検討し、共通理解の充実につなげていきたいと考えています。</p>	<p>幼小学部</p>
<p>生徒への支援方法については、学級担任、授業担当者、学部会、ケース会議と段階的に情報共有と協議を行い、必要に応じて関係職員で対応を進めてきました。一方で、ご指摘のとおり、支援内容によっては、より丁寧な協議や共通理解が求められる場合もあると受け止めています。今後も日常的な相談や情報共有を大切にしながら、ケース会議の開催の在り方やタイミングについて検討し、支援の充実につなげていきたいと考えています。</p>	<p>生徒への支援方法については、学級担任、授業担当者、学部会、ケース会議と段階的に情報共有と協議を行い、必要に応じて関係職員で対応を進めてきました。一方で、ご指摘のとおり、支援内容によっては、より丁寧な協議や共通理解が求められる場合もあると受け止めています。今後も日常的な相談や情報共有を大切にしながら、ケース会議の開催の在り方やタイミングについて検討し、支援の充実につなげていきたいと考えています。</p>	<p>中学部</p>
<p>生徒への支援方法について共通理解を図ることは、適切な指導・支援を行う上で重要であると受け止めています。高等部普通科では、限られた時間の中で多くの関係者が集まるケース会議を頻繁に開催することが難しい状況もあるため、些細な事案についても窓口を一元化し、段階的に情報共有と指導を行うことで、問題が大きくなる前に対応できるよう取り組んでいます。今後は、学部内での生徒情報の共有や指導方針の確認をより丁寧に行い、その内容を関係者全体に共有することを意識しながら、共通理解の充実努めていきたいと考えています。</p>	<p>生徒への支援方法について共通理解を図ることは、適切な指導・支援を行う上で重要であると受け止めています。高等部普通科では、限られた時間の中で多くの関係者が集まるケース会議を頻繁に開催することが難しい状況もあるため、些細な事案についても窓口を一元化し、段階的に情報共有と指導を行うことで、問題が大きくなる前に対応できるよう取り組んでいます。今後は、学部内での生徒情報の共有や指導方針の確認をより丁寧に行い、その内容を関係者全体に共有することを意識しながら、共通理解の充実努めていきたいと考えています。</p>	<p>高等部</p>
<p>生徒への支援方法については、まず担任（学級担当）を窓口として情報を共有し、必要に応じて、ケースごとに相談・情報共有を進めながら、適切な支援体制を構築していきます。</p>	<p>生徒への支援方法については、まず担任（学級担当）を窓口として情報を共有し、必要に応じて、ケースごとに相談・情報共有を進めながら、適切な支援体制を構築していきます。</p>	<p>専攻科</p>

学校関係者評価（保護者）自由記述に対する各部署からの回答

記述内容	回答	回答 部署
<p>学校に行くのをとても楽しみにしています。 先生達もたくさん声をかけてくれます。</p>	<p>温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>お子さまが学校に行くことを楽しみにしているとのこと、また教職員の関わりについて評価していただき、大変うれしく思っております。</p> <p>今後も、一人一人の気持ちに寄り添い、安心して通える学校づくりを大切にしながら、教職員一同、より良い教育活動と支援の充実に努めてまいります。</p> <p>引き続き、本校の教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。</p>	<p>管理者</p>

学校関係者評価（児童生徒）自由記述に対する各部署からの回答

記述内容	回答	回答部署
<p>羞明のの対応をそれぞれの生徒の症状にあわせてやってほしい。遮光カーテンをやってほしい。トイレ掃除の時に室内がとても暑い。特に6～10月</p>	<p>羞明への対応につきましては、生徒一人ひとりの症状や学習環境に応じた配慮が必要であると考えております。今後も担任を通して状況を確認し、必要に応じて遮光カーテンの設置や遮光方法について検討してまいります。また、トイレ清掃時の室内環境につきましては、特に夏季の暑さについてご負担があることを踏まえ、換気や作業時間帯の工夫など、可能な対応について検討してまいります。</p>	<p>事務</p>
<p>授業中寝ている人を起こさないで。体調不良で休んでいる時に、練習台や施術をしないで。</p>	<p>授業中の様子につきましては、生徒の健康状態や学習状況を確認するため、必要に応じて職員から声をかける場合があります。ただし、体調や疲労の状況を十分に踏まえ、今後はより配慮した対応を心がけていきます。また、体調不良の場合の実習参加については、無理をして練習台や施術を行う必要はありません。体調がすぐれない際には、職員に申し出た上で保健室で休養を取るなど、体調を優先した行動をお願いします。</p>	<p>専攻科</p>
<p>先生によって授業の方法が違うのは良いと思いますが、ノートの取り方が違うので統一していただけたらと思います。例えば生徒が一番わかりやすく勉強しやすいワークなどで</p>	<p>授業の進め方につきましては、児童一人ひとりの実態や学習内容に応じて、教員が工夫しながら指導を行っています。一方で、ノートの取り方や学習の進め方については、児童が混乱することなく、見通しをもって学習に取り組めるよう、一定の共通した考え方を大切にしています。小学部ではこれまでも、点字を使用する児童のノートの取り方や、学習に使用する教材（ワーク等）について、点字教科書や点字試験問題の表記、ノートの書き方に関する資料をもとに学部内で確認を行ってきました。今後も、児童にとって分かりやすく、学習しやすい方法となるよう、引き続き学部内で共通理解を図りながら取り組んでいきます。</p>	<p>幼小学部</p>

	<p>本校中学部では、弱視の生徒一人ひとりの見え方や理解度に応じて、学習用のワークシートやノートを工夫しながら授業を行っています。教科や学習内容によってノートの取り方が異なる場合がありますが、生徒が学習の進め方に迷うことがないように、基本的な考え方については教員間で共有しながら指導しています。学習の中で困っていることや希望がある場合には、その都度生徒の意見を聞き、教材や指導方法の見直しに生かしています。ワークシートについては、文字の大きさや内容の特性を踏まえつつ、生徒の実態に合わせた教材の工夫を行い、学びやすい環境づくりに努めています。今後も、生徒の意見を大切にしながら、より分かりやすく学習しやすい指導方法となるよう取り組んでいきます。</p>	<p>中学部</p>
<p>先生によって授業の方法が違うのは良いと思いますが、ノートの取り方が違うので統一していただけたらと思います。例えば生徒が一番わかりやすく勉強しやすいワークなどです。</p>	<p>ノートの取り方につきましては、生徒一人ひとりの実態が異なるため、基本的には個々に応じた対応を行っています。一方で、高等部普通科として学習の見通しをもちやすくするため、中学部での取組を踏まえ、ノートやプリントの様式について一定の共通ルールを設けることを普通科内で確認しています。具体的には、1行目を「日付と教科名」、2行目を「単元名」とすることを共通の書き方としていきます。今後も、生徒が整理しやすく、学習に取り組みやすいノートの在り方について、引き続き検討しながら指導していきます。</p>	<p>普通科</p>
	<p>専攻科では、生徒のノートの取り方について、墨字、点字、パソコン、音声など、学習方法が多様であることを踏まえて指導を行っています。また、授業内容や学習目標によっては、知識を整理する力やまとめる力など、生徒に求める学習のねらいも異なります。そのため、専攻科ではノートの取り方を一律に統一するのではなく、生徒一人ひとりの実態や学習内容に応じた方法で取り組むことを大切にしています。今後も、生徒が自分に合った方法で学習内容を整理し、理解を深められるよう、状況に応じた指導を行っています。</p>	<p>専攻科</p>
<p>セキュリティを強化して欲しい。無関係な人が教室に簡単に行けるらしいです。</p>	<p>校内の安全確保についてご意見をありがとうございます。学校では、不審者の侵入を防ぐため、校内の出入口や動線について見直しを行っています。現在、外部から校内へ直接出入りできる可能性のある図書室前の窓については、終日施錠し、外部の方が立ち入らないよう掲示による注意喚起を行っています。また、西門および裏門から来校した外部者が正門を利用するよう、案内表示の設置についても検討を進めています。今後も、生徒が安心して学校生活を送れるよう、校内の安全対策の充実に努めていきます。</p>	<p>管理者</p>